

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
群馬県前橋市元総社町七三-15
TEL 027-2555-3434
FAX 027-2555-3435
http://www.neues-asahi.jp

早くも梅雨入りの地域があるようです。前橋も雨が多くジメジメした日が続いています。ノイエスの前に見える桜やイチョウの葉の緑もだいぶ濃くなりました。こんな時期は服装も難しく、動いていると汗をかき、じっとしていると寒くなってきて、衣替えもしなくてはいけないし、世間はコロナ禍で出かけられなくても季節は待つてくれないなど改めて感じます。

そんな中、久々の晴れ間の休日に「いまだ！」とばかりに数人の子どもたちと一緒に畑作業をしました。冬に植えた玉ねぎの収穫とサツマイモの苗植えです。玉ねぎは残念ながらエシャロットのように小さくてちよつとがっかりでした。時期が早かったのもあるでしょうが、だいぶ苗も減っていたので植え方も悪かったと思います。味はいいかもしれませんが課題がたくさん残りました。次期のサツマイモはたくさん収穫したいので、丁寧に土を耕し、畝を作ってマルチを張り、心を込めて深く斜めに苗を植えました。子どもたちも辛抱して慣れない道具を使い、一生懸命作業していました。私は鋤や鍬に振り回されて体中が悲鳴をあげていますが、ステイホームが続いていたので心地よい疲れもあります。雨に洗われた空気は澄んでキラキラして遠くまで景色が望め、風は五月らしく爽やかで、土は濃い土の香り…自然はどんな時でも魅力的です。こんなことを言ってもらえるのもたまにしか作業しないニワカ農人だからかもしれません。機械を使つたとしても毎日たくさんさんの作物を扱っている農家の人や大きな畑を耕している人には脱帽です。

さて、県立の美術館や博物館も閉館になってしまいました。まん延防止等重点措置も六月中旬には解除されるでしょうか。しばらくは土の中で根を張って実を膨らませる芋のように、じっとステイホームや近場の散歩で心と体の養分をとって待つしかないです。

ニュースを見ているとらえ方や目を向ける方向によって、専門家の意見もそれぞれで、コロナ対策・イベントの可否・飲食店の営業方法など、正直何が正解なのかはわかりませんし、正解なんてないのだと思います。でも着実に「ワクチンを接種した」という声が身近に聞こえたり、海外でもマスク無しの生活の可能性などが話題にあがるなど、ワクチンによりコロナとの戦いは終息に向かっていている気配はします。右往左往しながらもきつと前に進んでいる…冬にはみんなで談笑しながら焼き芋パーティーができるくらい世の中が解放されているといいなと願っています。

(橋本)

ノイエス朝日「展覧会」のご案内

第27回 油彩画グループ

金曜会展

会期 六月七日(月)～九日(水)

※初日は午後一時～午後五時

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

出品者 石井 志げ 久保田和子 角田 邦子

岡本美智子 桑原 榮子

狩野美重子 塩谷 充代

賛助出品 島崎庸夫先生

〈連絡先〉 桑原榮子

〒370-3501 北群馬郡榛東村長岡一五五

電話 〇二七九-五四-七二六八

『絵本 上毛かるた』原画展

〈企画〉

版 画 野村たかあき

監修・文 唐澤至朗

会期 六月十九日(土)～二十七日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

「上毛かるた」に描かれているシーンを野村たかあきさんのかわいらしい版画、楽しくわかりやすい解説で紹介した絵本(群馬地域文化振興会より三月に刊行)の原画展です。

発行 一般財団法人群馬地域文化振興会
並製本A4版 本文一〇四頁 カラー
価格…二四二〇円(税込)

※入口で体温と体調とご連絡先を記入していただいています。マスク着用と手指の消毒も引き続きお願いいたします。

群馬県内の展覧会情報 番外編

休館中に行けない…と思いつつ調べていた群馬県立近代美術館の「デミタスカップの楽しみ」展ですが、VRつまりヴァーチャルリアリティーで会場を歩くようにパソコンやスマホの画面で見ることができていることを発見しました！私も慣れない作業で少し戸惑いましたが、少し慣れると知っている館内というところもあって、すんなり入口から出口まで進むことができました。見たい作品の前の「〇」に行つて画面を拡大すると(パソコンなら人差し指でコロコロ、スマホならば人差し指と親指で拡大)、それほど詳細ではありませんが作品の雰囲気は十分わかる程度に見ることが出来ます。

デミタスカップ・コレクター村上和美のコレクションから精選した逸品約三八〇点を紹介したこの展覧会。ちょうどまん延防止等重点措置の実施される六月十三日までの開催予定だったので、会期の延長も検討されているようですが、美術館に行つていて気分が遊んでみるのも楽しいかもしれません。



立体的な美術館の図から入ります

行きたいところをクリック

こんな感じでアップできます

ちなみにこういったVRで訪れることができる美術館は、世界的にどんどん増えてきています。代表的なのはGoogle Arts&Cultureです。もちろん本物と対面した時の感動・迫力・存在感には及びませんが、下調べやちよつとした気分転換に見ていると、時間も忘れて見続けてしまうほど面白いです。そして、解説をゆつくり読みながら進めたり、細部を実際見るよりもかなり大きくアップした画像を見ることができたりと、便利な面もあります。もちろん図録などを眺めて行った気分になるのも楽しいです。こんな時期には「おうちミュージアム」を試してみたいかがでしょうか。